

# 博多湾わかめプロジェクト 2021

## 報告書

令和4年3月

博多湾わかめプロジェクト実行委員会

本事業は 2021 福岡市環境市民ファンド助成  
未来へつなげる環境活動支援事業の補助を受けて実施しています





# 目 次

1.	はじめに .....	1
2.	各行事のスケジュールと実施要領と実施 .....	1
2. 1	1回目ワカメ種系の巻付けと海中への設置の実施要領と実施 .....	1
2. 2	事前生育調査実施要領と実施 .....	3
2. 3	2回目収穫イベントの実施要領と実施 .....	4
3.	参加者 .....	7
4.	各行事の実施状況写真 .....	8
	福岡女子高校 文化祭パネル展示の状況 .....	8
	1回目種系の巻付けと海中への設置イベントの状況 .....	9
	事前調査と中間摘取の状況 .....	11
	2回目収穫イベントの実施状況 .....	12
5.	ホームページの作成 .....	14
6.	おわりに .....	14
7.	謝辞 .....	15
8.	資料 .....	16
	博多湾わかめプロジェクト 企画書 .....	16
	博多湾わかめプロジェクト 2021 のご案内 .....	18
	実行委員会名簿 .....	20
	実行委員会議事録 .....	21
	マリゾン・博多湾環境整備共同事業体宛申請書等 .....	22

## 1. はじめに

### 目的

本実行委員会の目的は、主に福岡市にお住いの皆様に博多湾の自然との触れ合いを通じて、海の持つ重要な役割、地域の漁業や文化さらに、生態系の再生など環境保全の大切さについて学ぶ場を提供することを目的としている。

この目的を達成するための手法として、本年度はワカメを種糸の養殖ロープへの巻付けイベントと海中への設置、成長したワカメの収穫し参加者が持ち帰った。

この中で、参加者には、ワカメという海藻の持つ環境面での特性、特に環境中での物質収支の位置づけ、成長したワカメの引揚げを通しいかにワカメの生命力が強く成長速度が速いか、生物を育てることの意味、引き揚げたワカメを収穫することによりワカメの触感、臭い、姿などのワカメの生態、さらに持ち帰って味わうことによって味覚を通じての食材としてのワカメの理解、さらにその調理法、これらにより五感を通じてワカメとその博多湾環境とのかかわりを理解して頂いた。さらに味わうことにより、食を守るためには環境を守る必要があることを理解して頂いた。

### 事業の経過

今年度はコロナ感染症対策のための規制は解除されたが、安全を見込んで室内で実施する講義や試食は中止した。そのため、参加者には野外でのワカメの種紐の養殖ロープへの巻付けの実体験と海中への設置の見学、成長してワカメの付着したワカメ養殖ロープの引揚げの見学と引き上げたワカメの収穫のみを体験して頂いた。

一方、今年度は福岡女子高等学校から、本事業に参画したいとの要望があり、文化祭でボランティア研究部の学生が本事業の広報活動とし「わかめプロジェクトや地域のパネル展示と DVD 放映」を実施した。ただ、コロナ感染症対策のため、外部からの来訪はお断りし校内での文化祭ということになった。

上記のように屋内での講義ができなかったため、ワカメなどについてプロジェクターを用いて説明することができなかった。そこで、1回目は昨年度に引き続き今年度もワカメについての冊子「博多湾でわかめを育てよう」を作製・印刷し、イベント開催に当たって配布、これを用いて説明した。2回目収穫イベントではより感染対策を徹底させ、予めスタッフで収穫したワカメをグループ分けした参加者にワカメの成長状況の観察と袋詰と持ち帰りをしてもらった。マスク(持参)と手袋(配布)の着用をお願いした。

今年度実施した行事は以下の通りである。

令和3年10月23日(土) 福岡女子高校 文化祭にて「わかめプロジェクトや地域のパネル展示」

令和3年11月14日(日曜日) 13:00~15:00 第1回目(ワカメ養殖網の設置)

令和4年2月18日(木曜日) 10:00~12:00 ワカメ生育事前調査

令和4年3月13日(日曜日) 10:00~12:00 第2回目(ワカメ収穫体験)

令和4年3月13日(日曜日) 12:00~14:00 撤収

## 2. 各行事のスケジュールと実施要領と実施

### 2.1 1回目ワカメ種糸の巻付けと海中への設置の実施要領と実施

1回目ワカメ種糸の巻付けと海中への設置に関する実施要領は下記の通りである。

- ・博多湾わかめプロジェクト1回目(種糸の巻き付けと設置)実施要領

前日までの業務

使用物品の準備

種糸の購入 ⇒ 山本さん

物品リストと準備

ハンドマイク、幟とポール、軍手、画板、筆記用具、折畳机(3脚)と椅子(6脚)、受付名簿、マスク(50個)、体温計、消毒液、受付番号掲示プラカード(3~4)

当日(令和3年11月14日)の業務と進行(時間割)

12:30 役員等集合

点呼、受付机、椅子設置

受付開始(冊子配布)

13:00 主催者と夢松原挨拶

13:10 スケジュールについての説明

13:15 スタッフ等紹介

13:20 わかめの増え方・育ち方について ⇒ 藤井さん

13:25 ワカメの栄養と調理法について ⇒ 本田さん

13:30 わかめの養殖いかたについて説明 ⇒ 山本さん

ワカメ種糸について

幹ロープについて

巻き付け方の注意点と巻きつけ方について

以上をトータルで20分程度に

13:30 伝馬船到着

13:50 時間調整(繰上げて早めに終了の可能性)

14:00 姪浜支所挨拶と作業内容の説明

14:30 種糸の巻き

海中への設置見学

第2回目収穫のご案内

案内チラシの配布と申込方法について

閉会の挨拶

写真撮影

15:00 参加者解散

後片付

担当者と人員配置について

種紐の購入 ⇒ 山本

ハンドマイク(田中)、軍手、幟とポール、画板、筆記用具、マスク、消毒アルコール、体温計(夢松原)、折畳机と椅子(姪浜)、受付名簿(山崎)、プラカード(ENJEC)

伝馬船にて種糸、幹ロープ、アンカー、フロートの輸送 ⇒ 野上勝行

写真撮影、記録 ⇒ 中

幟の設置 ⇒ 井上

司会 ⇒ 角

タイムキーパー ⇒ 角

挨拶 実行委員会代表、はかた夢松原の会代表

博多湾わかめプロジェクトについての説明 ⇒ 山崎

スタッフ等紹介 ⇒ 司会者

スタッフ等紹介 ⇒ 自己紹介

わかめの増え方・育ち方について ⇒ 藤井

ワカメの栄養と調理法について ⇒ 本田

わかめの養殖いかだについて説明 ⇒ 山本

姪浜支所代表挨拶 ⇒ 野上洋一

種糸の巻き付け指導 ⇒ 野上勝行

海中への設置見学 ⇒ 参加者

第2回目収穫のご案内 ⇒ 司会者

案内チラシの配布と申込方法について ⇒ 司会者

閉会の挨拶 ⇒ 田中

写真撮影 ⇒ 中山

後片付け ⇒ 全員

#### ・実際の実施状況

実施状況写真に示した通り、1回目イベントはほぼこの通り実施できた。

## 2. 2 事前生育調査実施要領と実施

事前生育調査の実施要領は下記の通りである。

日時 令和4年2月18日(金)10時～12時

場所 愛宕浜突堤内のワカメロープ設置地点

内容

姪浜漁港より伝馬船にて設置地点へ行き、ワカメの生育したロープの一部を船上に引揚げ、生育状況を把握する。また、ロープ1mの間に生育したワカメの全量を刈取、重量を測定する。ロープの全長60mに生育したと推定されるワカメの総量をもとめる。結果をホームページにアップロードする。

#### 実施状況

博多湾わかめプロジェクト実行委員会では、2回目収穫イベントに先立ち、生育状況の調査を令和4年2月18日に実施した。姪浜漁港に集合し、伝馬船にて幹ロープ設置場所へ向かった。

到着後設置されている2本の幹ロープの内、南側のロープの一部を船上に引揚げ、幹ロープ1mの部分に成長しているワカメを全て収穫し、港に持ち帰った。また、北側のロープについては、船べりまで持ち上げ、生育状況を目視しにより確認した。2本のロープにはほぼ均一にワカメが生育していた。

港に持ち帰ったワカメの重量を測定した結果、約 60kg であり、ロープ全長が 60m 程度であるので、全量 456kg となった。これは昨年と同程度の成長量と考えられる。今年度は、発泡スチロールフロートを各所に 2 個つなぎで設置頂いたため、幹ロープが沈み込む様子は見られなかった。

この様子は「博多湾わかめプロジェクト実行委員会」のホームページにアップロードし広報に努めた。

## 2. 3 2 回目収穫イベントの実施要領と実施

### 当初計画

#### 2 回目博多湾ワカメプロジェクト 2021 行事進行表

##### 2022 年 3 月 12 日(前日までに準備、当日搬送)

ブルーシート(4)、紐、土嚢(50)、スコップ(5)、コンテナボックス、収穫用鎌(10)、バケツ(4)、ほうき、一輪車(毛利)、ハンドマイク(田中)、のほりと棒、レジ袋(200)、軍手(100)、タオル(手足ふき)、救急箱、マスク(1 ケース)、名刺大スタッフカードとストラップ(30)(磯谷) 受付用参加者リスト、冊子(100)(山崎)、プラカードとプカード立 の杭と支柱(ENJEC)、生物観察用バット(山本)、机(3)、椅子(6)(野上)

##### 2022 年 3 月 13 日 当日

##### 写真撮影(山本、中山)

	漁師さん、突堤	愛宕浜
9:00	伝馬船準備 出港	愛宕浜人口海浜駐車場集合、漁業者への挨拶と確認(山崎)、プラカード(ENJEC)、幟設置(磯谷)
9:45	ワカメ引揚げ準備終了(吉田、真田他、篠崎、朝隈他)	受付開始 (夢松原)
10:00	潮位は欄外	開始(司会 角)
10:05	引揚げ開始(吉田、真田、篠崎、朝隈他)	挨拶
	今回は突堤に引揚げ	行事説明、冊子説明
		当日の行事進行
	ワカメは 2 列とも引き上げる	レジ袋、手袋(ビニール)、軍手の配布
10:50	ワカメ引揚げ準備終了(吉田、真田、篠崎、朝隈、他)	参加者引き揚げ見学
10:55		漁師さん挨拶
11:00		収穫方法の説明(司会)
		参加者ワカメ収穫
	漁師さん引揚げ	収穫終了

		写真撮影(中山)
11:30		解散
11:40		後片付け、ブルーシート洗浄(全員)
		終了

ブルーシート洗浄は室見川にて(担当毛利 )

#### 変更点

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を強化し、下記のように変更した

- 8時ワ                   ワカメロープ引揚げ関係者集合(長靴をご準備下さい)  
砂の土嚢への詰め込み・運搬  
ブルーシート運搬・設置
- 8時45分               伝馬船到着
- 8時50分               ワカメロープ引揚げ
- 9時                     スタッフ全員集合  
ワカメ切り離し(若干遅くなる可能性)
- 10時                   レジ袋を渡す(必要な方には手袋も)  
順次参加者持ち帰り(切り離しができた順に)

#### ・実際の実施状況

2回目収穫イベントは、当初2月20日に計画していたが、福岡県の「まん延防止等重点措置」の設定により、2月27日に変更した。その後、状措置が3月6日まで延長されたため、3月13日に再延期した。さらに、新型コロナウイルス感染症対策を強化するため、収穫イベントとしては実施せず、参加者にはスタッフが引揚げ刈り取ったワカメを持ち帰り頂くにとどめた。そのため、前節の実施要領に示した通り、要領を変更し実施した。このため、参加希望者並びにスタッフには多大なご迷惑をかけることになった。

また、参加者出欠確認は実施していない。そのため、参加申込者数は把握できているが、実際の参加者としては、ほぼほとんどの申込者が参加したとみられるが、正確な数はつかみきれていない。



## 2.3 冊子の作成

- ・一回目イベントのための冊子作成

1回目ワカメ種糸の巻付けと設置イベントのために、冊子「みんなで育てる博多のわかめ」(A6用紙36ページ、300部)を作成した。

本冊子を参加者、特に子どもたちに分かりやすく説明するための資料として作成し、イベントで200部配布し、説明に使用した。目次は下記の通りである。冊子本体を参照下さい。

### もくじ

1 わかめの育ち方	
【1】わかめのかたち	1
【2】わかめの増え方	2
【3】わかめの一生	3
2 わかめの役割	
【1】生き物のすみか	4
【2】栄養の循環と水の浄化	5
【3】地球温暖化の緩和	6
3 わかめの食べ方	
【1】わかめのゆで方	7
【2】わかめのおすすめ料理	8
【3】めかぶで栄養アップ	10

### 3. 参加者

#### 1回目

博多湾わかめプロジェクト 2021 第1回目出席者合計	
参加申込者数	110
当日受付	6
申込総数	116
欠席者数	17
参加者数	99
内子供	38
内大人	61
参加者数	99
実行委員他	17
合計	116

#### 2回目

122名の参加申込があったが、新型コロナウイルス感染症対策を強化したため、参加受付は実施しなかった。このため、正確な参加者は不明である。

#### 4. 各行事の実施状況写真

##### 福岡女子高校 文化祭パネル展示の状況



展示されたパネル



展示資料を観察する学生



博多湾の海図と行事の DVD 放映



展示物を観察する参加者

1回目種系の巻付けと海中への設置イベントの状況



参加受付



参加者への説明



参加者による幹ロープへの種系の巻付け



漁師さん、スタッフによる巻き付け方の指導



巻付けたロープを皆で伝馬船へ



伝馬船に積み込んだ幹ロープ



幹ロープを積んだ伝馬船の出発を見送る参加者



伝馬船にて幹ロープの突堤内への設置状況



イベントを終了し全員で記念撮影

カメラの日にち設定の不備により、撮影日が実施日と異なっている。

事前調査と中間摘取の状況



2本のワカメ設置幹ロープが浮かんでいる



ワカメの生育した幹ロープの引揚げ



幹ロープの一部を引き上げる



船上に収穫した幹ロープ1mのワカメ

2回目収穫イベントの実施状況



ワカメ揚陸のためのブルーシート展張



ブルーシート延長終了伝馬船を待つ



伝馬船到着 揚陸開始



ワカメ揚陸中のスタッフ



揚陸したワカメを収穫する参加者



揚陸したワカメ幹ロープ 約 30m のロープ 2 本



揚陸したワカメを収穫する参加者



揚陸したワカメを収穫する参加者



揚陸したワカメを収穫する参加者



無事終了しきれいに後片付



## 5. ホームページの作成

昨年度ホームページ名を「博多湾わかめプロジェクト」と変更し、イベント等の広報に用いた。  
ホームページの URL は下記の通りである。

<http://wakameproject.sakura.ne.jp/wakameproject.sakura.ne.jp/>

また、QR コードを右に示した。

同ホームページへは「博多湾わかめプロジェクト」をキーワードに検索下さい。

また、各イベントの募集もホームページから実施した。



参加受付のページを通して参加申込を頂いた。これにより参加受付の事務量を減らすことができ、また、正確を期すことができた。

## 6. おわりに

### 今年度のまとめ

今年度はコロナ感染症対策のため、十分な活動は実施できなかったが、下記の屋外での活動を実施できた。

#### ①ワカメの種系の養殖ロープへの巻付けと海中への設置イベント

ワカメの幼芽が付着した種系を養殖ロープに巻付けは愛宕浜の海中に接しした。

事前にワカメの一生とワカメを通した物質収支ならびに食材としてのワカメについて参加者に開設を行った。制作した冊子「みんなで育てる博多のわかめ」を用いた。

#### ②ワカメの生育調査と中間摘取り

ワカメの生育状況の調査と中間摘み取りを実施し、調査結果をホームページで配信した。

#### ③ワカメの引揚げと収穫イベント

ワカメが生育した養殖ロープをスタッフで引揚げ、ロープから刈り取った。刈り取ったワカメは参加者持ち帰り頂いた。今年度は新型コロナ感染症対策強化のため、参加者への説明、参加者による刈取などは実施しなかった。

ワカメの成長の速さなど参加者からは驚きの声が聴かれ、ワカメの収穫と持ち帰りはなんとか終わることができた。

### 課題

今年度はコロナ感染症対策のため、十分な活動ができなかった。

特に、屋内での行事ができず、ワカメに関する種々の説明が十分できなかった。しかし、冊子を作成し配布することにより、ある程度は理解いただけた。

また、福岡県の「まん延防止等重点措置」延長のため、収穫は2度にわたり延期し、3月に入った。このためワカメの収穫時期としてはかなり遅くなり、過生育となった。これにより、食味が低下したこと、収穫できたワカメの量が多く、処置に苦慮した。

さらに、継続して使える冊子の充実、わかめ以外の生物（ホヤ、小魚、エビ etc）、参加者も協力した

後片付け、海浜を汚さない工夫、などを検討していきたい。

## 7. 謝辞

本事業を進めるに当たり、多くの方にご協力頂いた。特に、協賛頂いた下記の団体の方々にお礼申し上げます。

一般財団法人九州環境管理協会様

一般社団法人 日本埋立浚渫協会九州支部様

福岡市港湾建設協会様

博多港開発株式会社様

箱崎埠頭株式会社様

箱崎ユーティリティ株式会社様

株式会社ササキコーポレーション様

第一復建株式会社様

以上 順不同

さらに、「シーサイドももち海浜公園管理事務所様」にはフィールドのご提供を頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

また、博多湾わかめプロジェクト実行委員会の委員はじめ、多くの方にお世話になりました。この場をお借りし、心よりお礼申し上げます。

末文になりましたが、今回プルーフの輸送、洗浄など多大なご協力を毛利博義氏に頂きました。心よりお礼申し上げます。

## 8. 資料

博多湾わかめプロジェクト 企画書  
議事録

2021/10/15

博多湾わかめプロジェクト 企画書

博多湾わかめプロジェクト実行委員会

はじめに

博多湾のような閉鎖性水域は富栄養化し易いため、水質は悪化され易い。博多湾もその例に漏れず、水質はなかなか改善してこなかったが、下水道の高度化に伴い栄養塩の負荷の減少により富栄養化の負荷も減少してきている。しかし、アイランドシティの建設や室見川沖の浚渫くぼ地など湾の物理的形狀の改変の結果、アオサが集積し易い場所が形成されるなど、まだまだ問題を抱えており、漁業生産は現在も悪化傾向にある。

このような状況にあっても、河川や湖沼と異なり、海域の環境は市民の目に触れにくくその改善はなおざりにされる傾向にある。

このような現状を打破するため、本委員会では博多湾に関する市民の関心を高めるため、博多湾再生市民フォーラムを開催してきた。その中で参加者からも市民への五感を通じて博多湾環境への理解を深めさらに市民が自ら博多湾の環境改善に取り組む姿勢を導き出す必要があるとの意見が多くなってきている。

企画の目的と全体像

そこで、本委員会はまず福岡市民に博多湾環境に意識を向けて頂くため、ワカメ養殖から試食までの実体験に基づいた博多湾環境改善意識の向上を目指すことを決定した。ただし、このプロジェクトは単に市民に博多湾の環境を注目してもらうだけでなく、「環境問題」を物質循環の中でとらえ、市民の基本的認識とそれに基づいた行動の変化をもたらすことを目的とした。そのため、このプロジェクトでは「環境」を大脳で思索するにとどまらず、私たちの五感で「環境」を実感することにより、その問題点を理解することに重点を置いた。その五感の中でも「味覚」「臭覚」を重視するため、単にワカメを育てるだけでなく、自分の舌と鼻で「味わう」ことに特に重点を置いている。

具体的には、ワカメ幼芽の巻付け、湾内にわかめロープの設置、ワカメの収穫と試食を参加者に体験してもらい博多湾環境保全の参加を促し。その成果を実食しても味わう企画とした。

この「博多湾わかめプロジェクト」は、SDGsの掲げる17目標のうち、⑪都市（住み続けられるまちづくりを）、⑫生産・消費（つくる責任、つかう責任）、⑭海洋資源（海の豊かさを守ろう）、⑰実施手段（パートナーシップで目標を達成しよう）を目指すものである。

企画の具体的な内容

具体的なイベントとして、第1回目のワカメの幼芽の付着した糸(種糸)をロープ(幹縄)に巻き付け、湾内に設置する。湾内への設置は漁師さんをお願いする。

この時、ワカメの養殖とワカメの一生並びにワカメ養殖が湾内環境に及ぼす影響(栄養塩の摂取)について資料に基づき参加者に説明する。

第2回目のワカメの収穫と試食では、湾内に設置した幹縄を海岸に引揚げ、生育したワカメを参加者に収穫してもらい、ワカメの成長の早さやそれを育む博多湾の豊かさを実感してもらう。

さらに、試食して頂いて博多湾で採れたワカメのおいしさを堪能してもらい、口に入れるワカメの育つ博多湾環の境保全の重要性について味覚と臭覚を通して理解を深めてもらう。

実績としての過去の参加数は80名から120名程度である。

スケジュール(予定)

種糸の購入 令和3年11月12日～13日(予定)

種糸は島原の漁業協同組合に購入に行く

第1回目種糸の幹縄への巻き付けと設置

日時 令和3年11月14日(日)13時～16時(決定)

場所 愛宕浜海浜公園

第2回目 ワカメの収穫と試食

日時 令和4年2月20日(日) 10時～12時(予定)

場所 愛宕浜海浜公園

## 今年もさらに好評にて開催

### はじめに

本実行委員会では6年にわたり、子どもたちと一緒に博多湾の自然と触れ合い、海の持つ重要な役割、地域の漁業や文化さらに環境保全の大切さを学ぶため「もち浜ワカメプロジェクト」を実施してまいりました。お陰様で、多くの市民の方からぜひ続けて欲しいとの声援を頂いています。また、「わかめ」には「若々しく新たに発展していこう」との願いを込めています。

博多湾を考えるにはまず知る必要があります。本プロジェクトはワカメ養殖を通して、子どもたちと一緒に博多湾について学んでいくプロジェクトです。

今年度も新型コロナウイルスのため、室内でのイベントを中止し、ワカメを幼芽(ようが)から育て、大きく育ったワカメを観察、収穫・試食し五感を通して博多湾の環境について学習します。

昨年に続き愛宕浜で、11月にワカメの幼芽(ようが)をこども達とロープに巻き付け、海中にぶら下げました(ワカメ養殖網の設置)、本年の2月にワカメを摘み取り(ワカメの収穫)、人と自然の循環(食物連鎖)を、体験を通して学びます。新型コロナウイルス予防のために試食会は取りやめますが、ご家庭でお楽しみ下さい。

### 第1回目(ワカメ養殖網の設置) マスク着用をお願いします

日 時 令和3年11月14日(日曜日) 13:00~15:00

集合 場所 マリナタウン海浜公園

ワカメ設置 マリナタウン海浜公園

参加費 無料

対象(定員80名) こどもと大人

(こどもは保護者同伴)(服装:濡れてもよい服装で)



幼芽巻付けの様子

### 第2回目(ワカメ収穫体験) マスク着用をお願いします

日 時 令和4年2月20日(日) 10:00~12:00 (予定)

集合 場所 マリナタウン海浜公園 受付

ワカメ収穫 マリナタウン海浜公園

参加費 無料

対象(定員80名) 1回目と同様 **1回目参加者を優先** 定員になり次第  
締め切り(こどもは保護者同伴)(濡れてもよい服装で)

ワカメ収穫体験 マリナタウン海浜公園

主催 博多湾わかめプロジェクト実行委員会

共催 NPO法人日本環境監視協会 ・ NPO法人はかた夢松原の会 ・ 福岡市漁業協同組合姪浜支所

後援 ・ 未定

問合せ・申込 博多湾わかめプロジェクト実行委員 代表 山崎惟義宛

FAX 092-775-4936 TEL090-7296-2618 Email:yama@fukuoka-u.ac.jp

(お預かりした個人情報はこの催しの連絡以外は使用しません)

**申し込みは Email のみにてお願い致します**

集合場所、申し込み要領は裏面をご覧ください



## 会場付近の地図



会場へのアクセス

能古渡船場方面バスにて、能古渡船場バス停下車

(運行路線によって番号は異なりますが、9、98、301、302、304、312 があります)

図中にある駐車場にかなりの駐車スペース(有料)があります

お申込はこちらのQRから  
が便利です ⇒ ⇒



### 申し込み要領

申し込み先 博多湾わかめプロジェクト実行委員 代表 山崎惟義宛 Email:yama@fukuoka-u.ac.jp

申し込みは Email のみにて受け付けます

下記の要領にて申し込み下さい(代表者欄に○を付けてください)

代表者	氏名	メールアドレス	年代	電話番号
○	愛宕かつお	必須	40 歳代	できれば
	愛宕さざえ		30 歳代	
	愛宕わかめ		中学 2 年生	
	愛宕たら		小学 3 年生	

メールアドレス、電話番号は代表者のみでかまいません(どなかた 1 名、電話番号は任意です)

メールアドレスは必須です(緊急連絡などのため)

注 ホームページ名は以前のまま(ももち浜わかめプロジェクト)になっています。悪しからず。

<http://wakameproject.sakura.ne.jp/wakameproject.sakura.ne.jp/>

実行委員会名簿

令和3年度博多湾わかめプロジェクト実行委員会名簿						
	役職名	フリガナ 氏 名			役職名	フリガナ 氏 名
1	代表	ヤマサキ コレヨシ		12	委員	アサクマ マコト
		山崎 惟義				朝隈 眞
2	副代表	ババサキ マサヒロ		13	委員	シノザキ タカヒロ
		馬場崎 正博				篠崎 貴洋
3	副代表	イソガイ ケイコ		14	委員	スミ ヒロミ
		磯谷 慶子				角 博美
4	委員	ナカヤマ ヒサオ		15	委員	ノガミ ヨウイチ
		中山 比佐雄				野上 洋一
5	委員	オギ イクコ		16	委員	タナカ ダイジ
		尾木 幾子				田中 大士
6	委員	スモト ヤスオ		17	委員	ホンダ ヨシコ
		須本 恭雄				本田 淑子
7	監査	イノウエ ヨシト		18	委員	イソガイ ヒロフミ
		井上 嘉人				磯谷 啓史
8	委員	ナカジマ フミキ		19	委員	ニシナガ ケイゴ
		中島 史樹				西永 圭吾
9	委員	ワタナベ リョウイチ		20	委員	ムラカミ ノリオ
		渡辺 亮一				村上 憲男
10	委員	ヤマモト チヒロ		21	委員	ノガミカツユキ
		山本 千裕				野上 勝行
11	委員	ヨシダ マサヒロ				
		吉田 雅尋				

実行委員会議事録

博多湾ワカメプロジェクト第1回実行委員会  
議事録

日 時 令和3年10月21日(木)14時より

場 所 福岡市漁業協同組合姪浜支所

出席者 実行委員会名簿他の通り

議題

① 自己紹介

② 博多湾わかめプロジェクト 企画書について

⇒企画書については特に議論しなかった。皆さん方からのご意見をうかがうこととなった。

③ 第1回目実施要領(案)について

④ 博多湾わかめプロジェクト 2021のご案内について

案内の内容について

第2回目イベントを令和4年度2月20日(日)10時より について

この案内で参加者を募集する について⇒この案内を用いて募集することとなった。

募集方法について⇒ホームページと案内を用い実行委員含め皆さんで募集して頂くこととなった。

⑤ 冊子制作について

冊子の内容について

冊子の説明について

養殖いかだについての説明について

⑥ 今後の実行委員会開催について

⑦ その他



様式第1号

行為許可申請書

令和3年 10月15日

(あて先)

福岡市海浜公園指定管理者

マリゾン・博多湾環境整備共同事業体 様

【申請者】

住所・所在地 所在地 福岡市中央区大名1丁目2-15-4 B  
 氏名・会社名 博多湾わかめプロジェクト実行委員会  
 代表者：職・氏名 山崎惟義 代表 印  
 担当者：職・氏名 山崎惟義 代表  
 (電話 090-7296-2618 FAX 092-775-4936 )

海浜公園において次の行為をしたいので、福岡市海浜公園条例施行規則第2条の規定により申請します。

目的(件名)	ワカメ飼育と収穫・試食による博多湾環境学習
内 容	市民とともにワカメの種糸を巻き付けた幹縄を海中に設置し、来年3月に収穫する。
場所(位置)	マリナタウン海浜公園 (愛宕浜地区) 西側
期 間	令和 3年11月14日( ) ~ 3年11月14日( ) [ 1日間] 時間：09時00分~17時00分 [ 8時間00分]
利用者人員	80 人
入場料等 徴収の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
現場責任者	会社名・所属名 博多湾わかめプロジェクト実行委員会 職・氏名 代表 山崎惟義 電話番号 092-607-7667 携帯 090-7296-2618

※行為に当たっては、許可に際して付された条件を厳守します。

様式第1号

行為許可申請書

令和4年 3月8日

(あて先)

福岡市海浜公園指定管理者

マリゾン・博多湾環境整備共同事業体 様

【申請者】

住所・所在地 所在地 福岡市中央区大名1丁目2-15-4 B  
氏名・会社名 博多湾わかめプロジェクト実行委員会  
代表者：職・氏名 山崎惟義 代表 印  
担当者：職・氏名 山崎惟義 代表  
(電話 090-7296-2618 FAX 092-775-4936 )

海浜公園において次の行為をしたいので、福岡市海浜公園条例施行規則第2条の規定により申請します。

目的(件名)	ワカメ収穫とアンカー等の撤収
内容	わかめ養殖幹縄の引揚と設備の撤収並びに参加者によるワカメの持ち帰り
場所(位置)	マリナタウン海浜公園 (愛宕浜地区) 西側
期間	令和4年3月13日(日)～4年3月13日(日)〔1日間〕 時間：09時00分～17時00分〔8時間00分〕
利用者人員	100 人
入場料等 徴収の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
現場責任者	会社名・所属名 博多湾わかめプロジェクト実行委員会 職・氏名 代表 山崎惟義 電話番号 092-607-7667 携帯 090-7296-2618

※行為に当たっては、許可に際して付された条件を厳守します。

様式第8号

占 用 許 可 申 請 書

令和3年 10月15日

(あて先)

福岡市海浜公園指定管理者

マリゾン・博多湾環境整備共同事業体 様

【申請者】

住所・所在地	福岡市中央区大名1丁目2-15-4B	
氏名・会社名	博多湾わかめプロジェクト実行委員会	
代表者：職・氏名	代表 山崎惟義	印
担当者：職・氏名	山崎惟義	
(電話	090-7296-2618	FAX 092-775-4936 )

海浜公園を次のとおり占有したいので、福岡市海浜公園条例施行規則第9条の規定により申請 します。

目的(件名)	ワカメ飼育と収穫・試食による博多湾環境学習
場所(位置)	マリナタウン海浜公園(愛宕浜地区)西側
占有面積	5,000 m <sup>2</sup> 西側水域にブイを設置し、飼育エリアを区画
占有期間	令和3年11月15日(日)～4年3月15日(月)〔121日間〕
物件等の種類及び構造	ワカメ飼育幹縄及びフロート、アンカー
工事期間	設営：令和2年11月15日(日)～2年11月15日(日)〔1日間〕 撤去：令和3年3月15日(月)～3年3月15日(月)〔1日間〕
工事实施の方法	設営：砂浜にて幹縄にワカメの種糸を巻き付け、伝馬船にて海中に設置。 撤去：伝馬船にて幹縄を海岸に引き揚げ、アンカー等も回収。

※占有に当たっては、許可に際して付された条件を厳守します。

様式第1号

**利用料金減免申請書**

令和3年 10月15日

(あて先)

福岡市海浜公園指定管理者

マリゾン・博多湾環境整備共同事業体 様

**【申請者】**

住所・所在地	福岡市中央区大名1丁目2-15-4B	
氏名・会社名	博多湾わかめプロジェクト実行委員会	
代表者：職・氏名	代表 山崎惟義	印
担当者：職・氏名	山崎惟義	
(電話	090-7296-2618	FAX 092-775-4936 )

福岡市海浜公園条例第5条の2第5項の規定に基づき、利用料金の減免をお願いしたいので、関係書類を添えて申請します。

- (関係書類)
- ① 博多湾わかめプロジェクト企画書
  - ② 博多湾わかめプロジェクト実行委員会会則
  - ③ 案内チラシ

